

病院経営強化プラン数値目標達成のための令和 7 年度の事業取り組み実績

西川町立病院経営強化プラン（改訂版）16 ページから 18 ページ

① 医業収益増・医療の充実向上 【実施状況：●実施済又は実施中 ○実施準備中 ×未着手】

主要事業	実施状況	概要	実績
ア) 診療報酬における医療 D X 推進加算や後発医薬品使用体制加算など、取りこぼしのない算定	●	マイナ保険証利用の窓口呼びかけ、随時後発医薬品との切替えにより加算申請に向け準備	☒ 〔医療 DX 推進加算 4〕（レセプト件数ベース利用率 41%（11 月診療分））2 月中に届出予定 ☒ 〔後発医薬品使用体制加算 3〕（使用割合 75%以上 90%未満）を 1 月 23 日付けで届出 ⇒2 月から加算 5 円で算定
イ) 病床数削減による効果的、効率的な病床の管理・調整	●	週 1 回のベットコントロール会議を実施（包括ケアと一般病床の調整）	☒ 12 月までの病床利用率平均 60.1%（最大 11 月 79.8%） ☒ 「山形県病床数適正化支援事業給付金」36,936 千円（※1）
ウ) 30 年以上の上部内視鏡検査の実績など強みを生かした新規の健診受診者の取り込み	●	R8 年度の健診案内（R8.2 月）に向け、健康福祉課と年内に協議	☒ R8 年度健診案内を健康福祉課から送付 ☒ 内視鏡検査のすすめと健診の所要時間をつながるくん、広報 お知らせで情報発信 ☒ 年間の検診受診者数の平準化を図るため受入人数や条件を調整
エ) 地域医療連携強化による紹介患者、転入院患者の確保	●	経営強化実行チームで協議	☒ 医療相談室にて転院案内のパンフレットの作成・配布（2 カ所に持参、7 カ所に郵送）（※2）
オ) 小児科を標榜科目とすることを踏まえた診療受入れの基準の共有と公表	●	経営強化実行チームと医師で協議	☒ 実行チームでの協議 ☒ 月毎の体制カレンダーへ掲載（まず、電話してもらうこと）

② 経費節減

主要事業	実施状況	概要	実績
ア) 医療機器や事務機器の導入におけるリース等の活用による保守・修繕費の節減	●	各部門で検討。事務係と情報共有し調整・実施	☑各社から機器の提案を受けシステム選定委員会にて検討後、保守契約の条件も含めて導入を決定
イ) 電子カルテシステム更新に伴う各種業務の効率化	●	システム導入前の部門ごとワーキンググループを実施	☑システム更新によるデータの共有により各部門でリアルタイムの情報を確認できる ☑紙で出力後、別システムに手入力をしていた情報を連動・共有化⇒事務の効率化、紙の削減
ウ) 診療材料費削減対策の検討（部門ごとの経費把握を含む）	●	部門を越えて材料等の一元化を図り効率の良い在庫管理を実施	☑各部門が月の目標に掲げ、取り組みを実施 ⇒別紙参考：部門目標の取組表
エ) 後発医薬品使用率の向上	●	随時後発医薬品と切替え	☑3ヶ月の使用率を75%以上で維持し加算の届出済み ⇒引き続き使用率を維持

③ 人材確保・育成

主要事業	実施状況	概要	実績
ア) 職員の働きやすい環境づくりのための対話	●	8月、9月で院内対話会、町長対話会の実施予定	☑毎月の実行チーム会議にて対話の機会を設けた ☑10月31日「町長と病院職員の対話会」を実施（参加：21名）
イ) 職員研修の計画的実施	●	総看護師長主導で部会ごとに年間計画を作成し実施	☑看護協会主催の研修に参加 ☑専門的な分野の病院へ独自で実地研修 ☑病院に勤務する全職員を対象とした感染対策、接遇、医療安全対策などの研修を実施
ウ) 非常勤医師確保のため山形大学医学部附属病院への訪問活動	●	町長と院長の訪問（R5年度は訪問無し、R6年度は1回、R7年度は2回実施	☑1回目：7月（第一内科、第二内科、整形外科） 9月（第二内科（腫瘍）） ☑2回目：12月（第一内科、第二内科、整形外科 第二内科（腫瘍）

エ) 町出身者の就業を支援する、町の教育ローン「帰ってきてけローン」や西川町育英奨学資金貸与制度の、まなぶ課との連携による積極的な周知	×	R8 年度の事業広報に向けてまなぶ課と協議予定（年内）	
---	---	-----------------------------	--

④ 地域包括ケアシステムの維持強化・町保健事業との連携

主要事業	実施状況	概要	実績
ア) 町地域包括支援センターとの連携強化	●	毎月、保健医療福祉サービスエリア総合調整会議を開催し町内の関連施設で情報を共有	☑連携施設：ケアハイツ西川、社会福祉協議会、にしかわ保育園、保健センター（健康福祉課）、在宅医療介護連携室「たんぽぽ」（寒河江市ハートフルセンター）、とこしえ西川、町立病院【7施設】
イ) 特定健診や町民がん検診などの積極的な受入れ、月別受入れ人数の平準化	○	R8 年度の健診案内（R8.2 月頃）に向け、健康福祉課と年内に協議	①ウ）と同様
ウ) 予防接種（定期接種のほかインフルエンザや带状疱疹などの任意接種）事業への協力継続	●	制度などの情報発信を健康福祉課、受入れ体制の発信を町立病院が連携して実施	☑町広報紙「おしらせ」、「つながるくん」での配信にて情報を発信 ⇒追加配信後など予約申し込みが増える傾向あり

⑤ 医療のデジタル化

主要事業	実施状況	概要	実績
ア) 電子カルテシステム等の更新と、それに伴うマイナンバーカード情報連携対応によるスムーズな診療の実現	●	電子カルテシステムを年内に実装 （年度内は週1回の進捗報告会を開催しシステム間、部門間の調整を実施）	☑1 月 17 日に旧電子カルテとの切り替えを実施 ☑マイナンバーカードによる受付によって患者の医療関連情報の閲覧が可能となった。

イ) 通院のための移動が困難な町民を支援する事業の実施 ・全戸配布のタブレット（つながるくん）によるオンライン診療や相談業務 ・医療MaaS（通信機器など必要な機材を搭載した車両が地域を訪問し患者の自宅付近でオンライン診療などが受けられるサービス）の車両導入によるオンライン診療の多様化	○	R8.2 月中に医療 MaaS 車両の納車、オンライン診療用の医療器材及び通信機材を整備 運行開始まで車両、医療器材の試運転、運用研修、勉強会を実施	☒ 令和 8 年 5 月から医療 MaaS 運行予定 ⇒これまで実施してきたオンライン診療と違い、看護師が患者側に出向いてサポートできるため利用対象の範囲が拡大される ☒ 2 月 26 日_国保診療施設関係者合同研修会にて「医療 MaaS の取組について」を受講予定（8 名） ☒ 3 月中に事業支援業者から運行の勉強会を受講
ウ) 予約手続きの簡便化の実現 ・全戸配布のタブレット（つながるくん）やスマートフォンなどによる予防接種のオンライン予約	○	予約システムを整備	☒ 機材・システムは導入済み 運用を検討中

⑥ その他

主要事業	実施状況	概要	実績
ア) 病院利用者の移動手段確保のための、町民税務課との連携による「予約型乗合タクシー（のってあべ）」の効率の良い運行の検討	●	国土交通省のモビリティ人材育成事業交付金を受けて実施	☒ 「のってあべプラス」のおためし運行を実施、寒河江市内（白岩等）から西川町立病院、西川町立病院から寒河江市内の病院へのデマンドタクシーを運行（西川町と寒河江市の広域連携事業）
イ) 病院利用者の診療後の「通いの場、集いの場」の創出のための、健康福祉課との連携による病院近辺における「いきいきお茶のみ会」の立ち上げ支援	●	病院前「フレッシュマートシブヤ」へサロンを開設。9 月 1 日オープン予定	☒ 9 月 1 日「シブヤ アガラッシャイ」を店内にオープン

※ 1 「山形県病床数適正化支援事業給付金」 病床数を 43 床から 28 床に削減（△15 床） 15 床の内、一般病床分（9 床）が給付対象

1 床削減に対し 4,104,000 円の給付 9 床×@4,104,000 円=36,936,000 円

※ 2 転院案内のパンフレットの配布先（各病院の地域連携室へ）

●説明：県立河北病院、吉岡病院

●郵送：山形市立済生館、県立中央病院、寒河江市立病院、山形済生病院、北村山公立病院、山形大学附属病院、矢吹病院